

教会創立99周年  
**週 報**  
2022年5月22日 5186週

【今年度のテーマ・聖句】  
「感謝と前進  
—キリストの香りを携えて—」

あなたがたは、代価を払って買い取られたのです。だから、自分の体で神の栄光を現しなさい。  
(コリントの信徒への手紙一6章20節)

巻 頭 言

伊藤光雄牧師

「休息を与える主」

「疲れた者、重荷を負う者は、だれでもわたしのもとに来なさい。休ませてあげよう。」

—マタイ福音書一章二八節—

右記の「休ませてあげよう」という言葉は、原語のギリシヤ語では「休耕」という意味があります。これは田畑が何年も連続して耕作すると地力が衰えるため、何年かに一度は田畑を休ませるのです。そうすると地力が回復して次の年からまた豊かに実るのです。

しかし休耕は単に田畑を休ませる、何もしないということではなく、その田畑の生産力を回復させるために休耕することが目的ですから「休ませてあげよう」という言葉の中には回復させる、元気づける、励ます等という意味が含まれています。

イエス・キリストは重荷を背負って苦勞している人に向かって「休ませてあげよう」と言われました。それは何もせず、ただ腰をおろして休息しなさいと言っているわけではありません。ここには回復と共に新たな行動への励ましがあるのです。

心の疲れは、いくら身体を休ませてもなかなか回復には至りません。むしろ逆に悪化させてしまうことがあるのです。だからといって身体を動かし続けても解決しません。

心の疲れに本当の休息を与え、その結果、新たな生きる力をもたらし、実り豊かな人生を与えようとイエス・キリストは「休ませてあげよう」と言われているのです。

日本バプテスト シオン山教会

牧師：伊藤光雄

〒803-0846 北九州市小倉北区下到津2-15-21

TEL:093-561-0772 Fax:093-561-0760

E-mail:bapshion@eagle.ocn.ne.jp

HP-address: <https://bapzion.com>



## ◆ 主日礼拝

午前 10 時 30 分

司会 千葉敦子執事  
奏楽 田中由紀子姉

前	奏	
招	詞	出エジプト 19 : 5
頌	栄	1 1 (たたえよたたえよ)
主の祈り		(新生讃美歌の扉を参照)
讃	美	5 - 1, 3 節
		(神の子たちよ 主に帰せよ)
聖	書	マタイ 13 : 44 ~ 46
		(新共同訳 26p 口語訳 21p)
祈	禱	
讃	美	6 0 2 (まもなくあなたの) 聖歌隊
宣	教	「大いなる発見」
		伊藤光雄牧師
祈	禱	
讃	美	4 8 1 - 1, 2, 5 節 (迷い多きこの世)
献	金	祈り : 畑間節子姉
		(女性会 D 班)
報	告	
頌	栄	6 7 3 (救い主 み子と)
祝	禱	伊藤光雄牧師
後	奏	

## ◎ 今月の聖句

「わたしは心を尽くして主に感謝をさ  
さげ 驚くべき御業をすべて  
語り伝えよう。」

(詩編 9 編 2 節)

## 今月の当番役員

二木榮子 伊藤清美

## 本日の集会

教会学校

幼稚科・小学科・中高科・  
青年科・成人科  
9 : 30 ~ 10 : 15

主日礼拝の当番

受付 : 船津丸泰 田中登美子

二木榮子 (当番役員)

お花 : 酒井光子

## 定例役員会

11 : 45 ~ 12 : 30

## ◎ 今週の集会 (5月22日 ~ 5月28日)

25日(水) 19時30分

祈りを合わせましょう

<聖書> 使徒言行録 27 : 13 ~ 38

25日(水) 祈禱会 I 19 : 00

(奨励 : 伊藤光雄牧師)

26日(木) 祈禱会 II 10 : 30

(奨励 : 伊藤光雄牧師)

## 今週の聖書日課と祈り

22日(日) レビ記 2章 田中由紀子

23日(月) レビ記 3章 伊藤清美

24日(火) レビ記 4章 安部優子

25日(水) レビ記 5章 世良聡子

26日(木) レビ記 6章 島田利一

27日(金) レビ記 7章 千葉敦子

28日(土) レビ記 8章 磯部みゆき